

<領域：介護>

介護の基本

問題 3 介護施設における介護ロボットに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 導入した施設は、人員配置基準が撤廃される。
- 2 使用方法は、職員個人の判断で行う。
- 3 導入することによって、利用者の自立支援や生活の質の向上が期待される。
- 4 導入の目的は、職員と利用者とのかかわりを最小限に抑えることである。
- 5 導入によって、職員の巡回は不要になる。

問題 4 次の記述のうち、指定避難所での要配慮者に対する生活支援として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 避難所内の情報提供には、音声やピクトグラム(pictogram)も取り入れる。
- 2 避難所内では、二次避難に備えて土足で過ごしてもらう。
- 3 食事は、被災者の平等性、公平性の観点から同じものを提供する。
- 4 トイレは、感染予防のために和式便器が望ましい。
- 5 生活範囲は、区画されたスペースに限定する。

問題 5 ユニバーサルデザイン(universal design)の7原則に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

ち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 安全で使いやすいデザインにする。
- 2 要介護高齢者を対象とする。
- 3 個別対応より標準化を優先する。
- 4 介護福祉職にとって操作しやすいことを優先する。
- 5 デザインの美しさを優先する。

問題 6 Aさん(51歳, 男性, 障害支援区分5)は, 知的障害がある。共同生活援助(グループホーム)で生活をしている。日中は, 生活介護を利用して軽作業を行っている。Aさんは, タオルに強いこだわりを持っていて, なじみの店で自分が選んだタオルしか使用しない。これまでタオルは, 両親と買いに行っていたが, 両親が高齢になり行けなくなった。Aさんの両親から, サービス管理責任者に, 「強いこだわりがあるので, いつも行く店で本人にタオルを選ばせてほしい。何か良いサービスはありますか」と相談があった。

次の記述のうち, サービス管理責任者の助言として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 店までの移動に不安があるため, 同行援護を勧める。
- 2 身体機能の維持・向上のために, 自立訓練(機能訓練)を勧める。
- 3 一人で外出できるように, 自発的活動支援を勧める。
- 4 自立した日常生活が送れるように, 自立生活援助を勧める。
- 5 本人が買物に行けるように, 行動援護を勧める。

問題 7 次の記述のうち、介護保険制度における一人暮らしの要支援者を支えるサービスの内容として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 夜間を安心して過ごすために、夜間対応型訪問介護を利用する。
- 2 自宅で安全に移動するために、介護予防住宅改修を利用する。
- 3 趣味のカラオケに行くために、小規模多機能型居宅介護を利用する。
- 4 身元保証や死後の財産処分のために、高齢者等終身サポート事業を利用する。
- 5 金銭管理のために、日常生活自立支援事業を利用する。

問題 8 Aさん(91歳、女性、要支援2)は、長年診療所の医師として地域医療に貢献してきた。婚姻歴はなく、診療所敷地内の自宅で3匹の猫と暮らしている。85歳で医師を引退した後も、近隣にはAさんを慕う地域住民が多く、定期的に、「先生、元気にしていますか」とAさんの自宅を訪ねている。

Aさんは昨年から歩行の不安を訴え、現在は地域住民の見守りのほか、訪問型サービスを週2回利用している。人の世話になることに慣れていない様子もあるが、最期まで自宅で暮らすことを望んでいる。

次の記述のうち、Aさんの生活史を尊重した訪問介護員(ホームヘルパー)の声かけとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「3匹の猫は、今後は地域の皆さんに預けましょう」
- 2 「近所の方の力も借りて、この地域で暮らしていけるように考えていきましょう」
- 3 「介護を受けることにも、今後は慣れてください」
- 4 「医師であったことは忘れて、私たちに頼ってください」
- 5 「一人暮らしで自宅で最期を迎えるのは、不安がありますよね」

問題 9 次の記述のうち、介護老人保健施設における在宅復帰に向けたカンファレンスで、介護福祉士が連携する職種の役割として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 歯科衛生士が、義歯を作成する。
- 2 看護師が、車いすを貸与する。
- 3 介護支援専門員(ケアマネジャー)が、訪問介護計画を作成する。
- 4 福祉用具専門相談員が、下肢の機能訓練をする。
- 5 作業療法士が、自宅の玄関の段差を確認する。

問題 10 次の記述のうち、介護老人福祉施設におけるリスクマネジメントとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 安全対策担当者を置き、事故発生予防のための委員会を定期的に開催する。
- 2 家族からの苦情は、介護福祉職が、その場で解決する。
- 3 利用者の私物を壊したときは、介護福祉職の自己判断で弁償する。
- 4 入浴介助時のインシデントの報告は、職員間の口頭による伝達に統一する。
- 5 事故防止のため、地域のお祭りへの参加は控える。

問題 11 次の記述のうち、介護現場におけるレジオネラ菌の感染対策として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 感染者の衣類は、熱湯で煮沸消毒する。
- 2 提供する食品は、加熱調理を徹底する。
- 3 循環式浴槽は、塩素系薬剤を使用して消毒する。
- 4 ドアノブは、次亜塩素酸ナトリウム液で消毒する。
- 5 家庭用加湿器のタンクの水は、常に貯めておく。

問題 12 介護福祉職が受けるストレスチェック制度に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 3年に1回の実施が義務づけられている。
- 2 労働者数が常時100名の事業場は受検が免除される。
- 3 結果は労務管理を行う介護主任へ提供され、面接指導に活用する。
- 4 心理的な負担の程度を把握するためのものである。
- 5 高ストレスと判定された場合は、産業医による治療が必須である。